

販売好調で積極仕入れ 三郷エリアで500棟達成

中央住宅

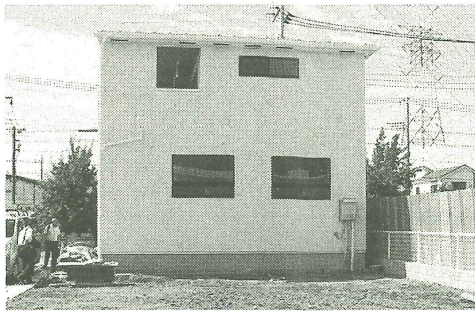
の29次販売で累計500棟を突破。その記念として、9月28日、29日には三郷市の栄調

ボラスグ
ループの中央
住宅（埼玉県
越谷市、品川
典久社長）は
10月11日、首
都圏新都市鉄
道つくばエクス
プレスの三
郷中央駅エリ
アで分譲戸建
ての販売（計
23棟）を開始
する。同社は
13年10月か
ら、同エリア
で戸建て分譲
を開始してお
り、今年4月

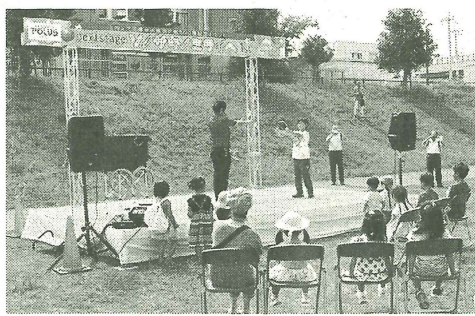
節池多目的広場でイベントも開催した。
同エリアでの累計販売戸数は7月の30次販売を加え、520棟。同社の戸建分譲設計本部設計二部の鈴木征道部長は「売れ行きが非常に好調だったので、積極的に土地を購入し、プロジェクトがどんどん大きくなっていった」と振り返る。

三郷市はかつて、隣接している自治体と比べて地価が安いエリアだったが、つくばエ

クスプレスの開通、UR都市機構の開発が奏功。割安感があいつつ、暮らしやすさも向



①31次販売用のモデルハウス（9月28日時点）
②メインステージでは大道芸などが繰り広げられた



上した。同社の戸建ての土地面積は地区計画により1200㎡以上。当初の販売価格は3400万円程度。エリア全体の人気向上などを踏まえ、現在は3700万円程度。契約者は子供を持つ30代、40代前半の夫婦がメインだ。
10月11日からの31次販売に合わせて、2階建てのモデルハウスを建設中（9月28日時点）。区画は計23棟。土地面積は1200〜1300㎡。販売価格は3000万円台半ばから4000万円台半ばを予定する。

同社は今後も同エリアで開発・販売を展開していく方針。事業計画は来年10月の35次販売・累計600棟での終了を見込む。

9月28日、29日の記念イベントは飲食品の販売に加え、メインステージで大道芸人によるパフォーマンス披露などが行われ、会場を盛り上げた。また、近隣に設けている販売センター「ミライズデッキ」では、椅子づくりをはじめとしたワークショップが開かれた。イベントの来場者は約1200人。